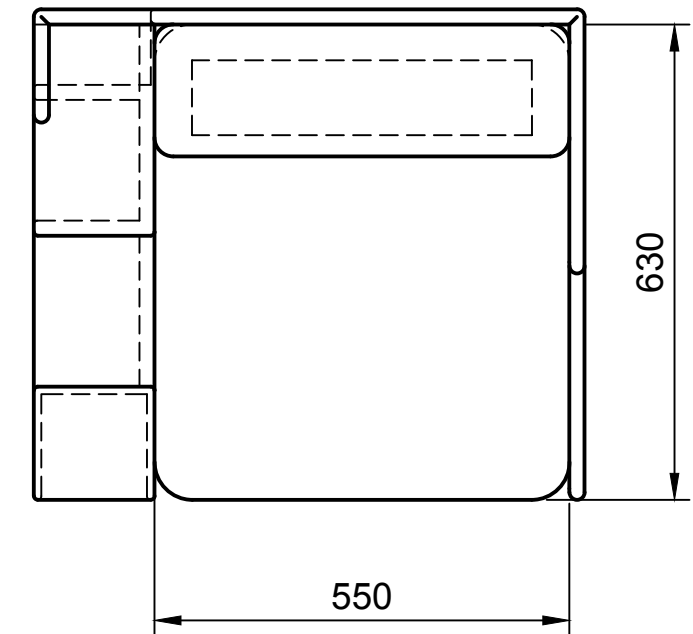


Entry No.0148

S=1/10



## Closed Chair

近年の社会では個人での作業をすることが多くなっていて、個人での作業は他に干渉されず自分の空間で出来ることが望ましい形であると考えた。よって、「真剣に作業に取り組む時間」ではなく、「気分転換でリラックスできる時間」にフォーカスを当てて、デザインしていく。

仕事や勉強で必要となってくる、アイデアを考えるとき、一つの方向から物事を考えるばかりではアイデア性に欠けてしまう。多方向からのアイデアを考える

には、考え方もそうだが、考える場所も重要であり、普段の集中する場所とは別に居心地よくリラックスでき、なおかつ機能性もあるような形にデザインした。比較的ゆったりとした、布地の座面と背もたれに、温かみのある木材のフレームで上に物などを置くことができる棚になっているスペースがある。木材のフレームは目線よりも上まであるため、丁度いい閉鎖感があり、息抜きしつつも作業に集中することができるようになっている。

これからも増えていく個人作業を、より充実させ、オリジナリティのあるアイデアを生み出していけるような環境を提案をしていきたい。

